

令和 5 年 度

小学校教員資格認定試験

教科及び教職に関する科目(Ⅰ)

注 意 事 項

受験者は、下記の注意事項に従うこと。それ以外の注意事項は全て試験監督者の指示によること。

1. 試験監督者の「始め。」の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 氏名、受験番号を「令和5年度 小学校教員資格認定試験 解答カード」(以下、「解答カード」という。)の指定された欄に必ず記入してください。
3. 受験番号をマークしてください。
4. 「解答カード」の中で、特に受験番号の欄の記入及びマークを間違えると失格になるので注意してください。
5. 解答は、全て「解答カード」の解答欄にマークで記入してください。問題冊子に答えを書いても無効です。
6. マークは必ず黒鉛筆(HB)を使用して、枠内にきちんと記入してください。
訂正する時は、プラスチック製消しゴムで完全に消してください。また、「解答カード」を曲げたり折ったりしてはいけません。
「解答カード」が汚れた場合や折れてしまった場合は、試験監督者に「解答カード」の交換を申し出てください。
7. この試験の解答時間は、「始め。」の合図があってから 70分です。
8. 試験が終わるまで退室できません。 [マーク例]
9. 試験監督者の「やめ。」の合図があったら、直ちにやめてください。 (よい例) ●
10. 下書きには問題冊子の余白を使用してください。
11. 試験終了後、問題冊子を必ず持ち帰ってください。 (悪い例) ⊙ ⊗ ⊕ ⊖

問 1 次の文章は、我が国の近代教育の黎明期に、教育の意義と必要性に関する理解の啓発に貢献したある人物の教育思想について述べたものである。文章中の空欄 ①， ② に当てはまる人物名の組合せとして正しいものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

教育の意義と必要性に関して、「人間は教育されなければならない唯一の被造物である」(『教育学講義』)は、 ① の有名な言葉であるが、我が国では、 ② が「教育とは人を教え育つと云う義にして、人の子は生まれながら物事を知る者に非ず」(『小学教育の事』)や「凡そ人の子たる者は誰れ^だ彼れ^かの差別なく、必ず教育の門に入らざるを得ず」(同上)と述べて、教育の意義と必要性に関する認識を凝縮した言葉を残している。教育を人間にとって必須の営為とするこの認識は、初期の著作『西洋事情』から最晩年の著作に至るまで、彼の著述を通して一貫するものであった。

- | | ① | ② |
|---|----------------------|------|
| ア | ヘルバルト(Herbart, J.F.) | 森有礼 |
| イ | ヘルバルト(Herbart, J.F.) | 福沢諭吉 |
| ウ | カント(Kant, I.) | 森有礼 |
| エ | カント(Kant, I.) | 福沢諭吉 |

問 2 江戸時代に各地につくられた私塾についての説明として誤っているものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 荻生徂徠は、儒教原理の追究とともに古代の言語研究、治政を中心とした歴史研究を重んじ、護国塾における門弟の養成に当たっては、各自の自主的な学習を促すとともに、共同の研究を促進する輪講等を尊重し、教師中心の講義法を排した。

イ 吉田松陰は、「至誠にして動かざるもの未だ之れ有らざるなり」の信念を持ち、個人個人の個性を大切にした個性主義と平等主義を尊重したその私塾、松下村塾からは、明治政府の要職を担った伊藤博文、山県有朋らを輩出した。

ウ 中江藤樹は、孔子・孟子の古に復すとの意味合いから、自己の学問を「古義」と名付け、塾を古義堂と命名した。その教育は門弟各自が古典について研究したところを自由に発表し、互いに真実を探究するというもので、今日のゼミに近いものであった。

エ 緒方洪庵は、大坂・瓦町に蘭学塾を開き、それは適塾(適々齋塾)と呼ばれた。地域や身分に関係なく全国から数多くの青年たちが集まり、医学教育に中心が置かれたが、師匠の方針により、また弟子の希望次第で、幅広い学習内容が取り上げられた。

問 3 次の文章は、明治期の教授方法について述べたものである。文章中の空欄 ① ～ ④ に当てはまる語句や人物名の組合せとして正しいものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

明治5年以降の我が国の学制期の学校における教授方法については、お雇い外国人教師 ① が明治5年5月に創立された師範学校においてアメリカの小学校の実践の様式を導入、紹介し、それがやがて各地方の師範学校や各地の講習所・講習会を通して全国に広められていった。それは ② を基本とし、年齢や段階に応じて学級を分け、一人の教師が数十人の生徒に、同一の教材を用いて教えるという形式であったが、その際、「問答」という教科も導入された。それは当時オスウィーゴー師範学校などを中心に進められていた革新的教授方法としてアメリカで普及していた ③ の実物教授法に基づくものであった。この教授法は、やがて明治11年に、オスウィーゴー師範学校で学んだ高嶺秀夫によって本格的に導入され、④ 教授法と呼ばれた。

	①	②	③	④
ア	スコット (Scott, M.M.)	一斉教授	ペスタロッチ主義	開発
イ	ハウスクネヒト (Hausknecht, E.)	一斉教授	ヘルバルト主義	段階的
ウ	スコット (Scott, M.M.)	集合教授	ペスタロッチ主義	開発
エ	ハウスクネヒト (Hausknecht, E.)	集合教授	ヘルバルト主義	段階的

問 4 次の文章を読んで、最も関わりの深い人物名を、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

20世紀半ばの科学技術の進歩とそれに伴う社会の急激な変化等から、未来の教育を学校のみ委ねることはできないとし、学校後の教育と学習こそが重要だという認識を示した。このことは、フランス語で「l'education permanente」、英語で「lifelong integrated education」と表記される。

1965年にユネスコの成人教育推進国際委員会で提唱されたこの教育の目標は、人間の一生を通じて、誰もが、どこでも、教育(学習)の機会を公平に提供されるということであり、従来の教育についての考え方を根本的に改めるものであった。

- ア ランジュバン (Langevin, P.)
- イ ラングラン (Lengrand, P.)
- ウ ケイ (Key, E.K.S.)
- エ イリイチ (Illich, I.)

問 5 次の各文は、「学校教育法」(昭和 22 年法律第 26 号)からの抜粋である。文中の空欄 ①～④ に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

第 1 条 この法律で、学校とは、幼稚園、小学校、中学校、①、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、大学及び高等専門学校とする。

第 11 条 ② は、教育上必要があると認めるときは、文部科学大臣の定めるところにより、児童、生徒及び学生に懲戒を加えることができる。ただし、体罰を加えることはできない。

第 12 条 学校においては、別に法律で定めるところにより、幼児、児童、生徒及び学生並びに職員の健康の保持増進を図るため、③ を行い、その他その保健に必要な措置を講じなければならない。

第 19 条 経済的理由によつて、就学困難と認められる学齢児童又は学齢生徒の保護者に対しては、④ は、必要な援助を与えなければならない。

	①	②	③	④
ア	義務教育学校	校長及び教員	健康診断	市町村
イ	義務教育学校	校長	健康相談	国
ウ	小中一貫校	校長及び教員	健康診断	国
エ	小中一貫校	校長	健康相談	市町村

問 6 次の各文は、「教育公務員特例法」(昭和 24 年法律第 1 号)からの抜粋である。文中の下線部の内容に誤りのあるものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 教育公務員の研修実施者は、教育公務員(公立の小学校等の校長及び教員(臨時的に任用された者その他の政令で定める者を除く。以下この章において同じ。))を除く。)の研修について、それに要する施設、研修を奨励するための方途その他研修に関する計画を樹立し、その実施に努めなければならない。

イ 教員は、授業に支障のない限り、本属長の承認を受けて、勤務場所を離れて研修を行うことができる。

ウ 教育公務員は、任命権者(第二十条第一項第一号に掲げる者については、同号に定める市町村の教育委員会。以下この章において同じ。)の定めるところにより、現職のまま、長期にわたる研修を受けることができる。

エ 公立の小学校等の教諭等の研修実施者は、当該教諭等(臨時的に任用された者その他の政令で定める者を除く。)に対して、その採用(現に教諭等の職以外の職に任命されている者を教諭等の職に任命する場合を含む。)の日から六ヵ月間の教諭又は保育教諭の職務の遂行に必要な事項に関する実践的な研修(次項において「初任者研修」という。)を実施しなければならない。

問 7 次の各文は、「いじめ防止対策推進法」(平成 25 年法律第 71 号)からの抜粋である。文中の下線部①～④の正誤(○×)の組合せとして正しいものを、下の解答群ア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

第 2 条 この法律において「いじめ」とは、児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等当該児童等と一定の人的関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為(インターネットを通じて行われるものを含む。)であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているものをいう。

第 3 条 いじめの防止等のための対策は、いじめが全ての児童等に関する問題であることに鑑み、児童等が安心して学習その他の活動に取り組むことができるよう、学校内においていじめが行われなくなるようにすることを旨として行われなければならない。

第 8 条 学校及び学校の教職員は、基本理念にのっとり、当該学校に在籍する児童等の保護者、地域住民、児童相談所その他の関係者との連携を図りつつ、学校全体でいじめの防止及び早期発見に取り組むとともに、当該学校に在籍する児童等がいじめを受けているときは、適切かつ迅速にこれに対処する責務を有する。

[解答群]

	①	②	③	④
ア	○	○	×	×
イ	×	○	○	×
ウ	×	×	○	○
エ	○	×	×	○

問 8 次の各文は、「小学校学習指導要領」(平成 29 年文部科学省告示第 63 号)の「第 1 章 総則 第 2 教育課程の編成 3 教育課程の編成における共通的事項」からの抜粋である。文中の下線部の内容に誤りのあるものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 各教科等の授業は、年間 35 週(第 1 学年については 34 週)以上にわたって行うよう計画し、週当たりの授業時数が児童の負担過重にならないようにするものとする。
- イ 各教科等や学習活動の特質に応じ効果的な場合には、夏季、冬季、学年末等の休業日の期間に授業日を設定する場合を含め、これらの授業を特定の期間に行うことができる。
- ウ 各教科等の特質に応じ、10 分から 15 分程度の短い時間を活用して特定の教科等の指導を行う場合において、教師が、単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した中で、その指導内容の決定や指導の成果の把握と活用等を責任をもって行う体制が整備されているときは、その時間を当該教科等の年間授業時数に含めることができる。
- エ 総合的な学習の時間における学習活動により、特別活動の学級活動の実施と同様の成果が期待できる場合においては、総合的な学習の時間における学習活動をもって相当する特別活動の学級活動の実施に替えることができる。

問 9 「小学校学習指導要領」(平成 29 年文部科学省告示第 63 号)の改訂の要点に関する記述として正しいものの組合せを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ① 外国語を通じて、児童が積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成し、言語・文化に対する理解を深めるために、小学校第 5・6 学年に「外国語活動」を新設することとした。
- ② 体育・健康に関する指導については、新たに学校における食育の推進及び安全に関する指導を加え、発達の段階を考慮して、食育の推進並びに体力の向上に関する指導、安全に関する指導及び心身の健康の保持増進に関する指導を、体育科の時間はもとより、家庭科、特別活動などにおいてもそれぞれの特質に応じて適切に行うよう努めることとした。
- ③ 言語活動や体験活動、ICT 等を活用した学習活動等を充実するよう改善するとともに、情報手段の基本的な操作の習得やプログラミング教育を新たに位置付けた。
- ④ 児童一人一人の発達を支える視点から、学級経営や生徒指導、キャリア教育の充実について示した。
- ⑤ 各学校においては、必要な学習内容をどのように学び、どのような資質・能力を身に付けられるようにするのかを教育課程において明確にしながら、社会との連携及び協働によりその実現を図っていく、「社会に開かれた教育課程」の実現が重要となることを示した。

ア ①②③

イ ②③④

ウ ③④⑤

エ ①③⑤

問10 次の各文は、総合的な学習の時間の評価の在り方についての、『小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 総合的な学習の時間編』(平成29年7月文部科学省)に基づく記述である。正しいものの組合せを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ① 児童の学習状況の評価に当たっては、個々の教師の恣意的な評価に陥ることのないよう、評価の妥当性、信頼性、客観性、公正性を担保するために「集団に準拠した評価」を重視して数値的に評価することも含め、学校や教師が創意工夫し、組織的かつ計画的な取組を推進することが重要である。
- ② 信頼される評価とするためには、教師の適切な判断に基づいた評価が必要であり、著しく異なったり偏ったりすることなく、およそどの教師も同じように判断できる評価が求められる。例えば、あらかじめ指導する教師間において、評価の観点や評価規準を確認しておき、これに基づいて児童の学習状況进行评估することなどが考えられる。
- ③ 学習状況の結果だけではなく過程を評価するためには、評価を学習活動の終末だけではなく、事前や途中に適切に位置付けて実施することが大切である。
- ④ 児童に個人として育まれるよい点や進歩の状況など、一人一人の学びや成長の様子を積極的に評価することや、児童間の人間関係形成における成果にも着目し、グループとしての学習成果にも注目した評価を行うべきである。

ア ①②

イ ②③

ウ ③④

エ ①④

問11 次の文章は、「小学校学習指導要領」(平成29年文部科学省告示第63号)の「第1章 総則 第6 道徳教育に関する配慮事項」からの抜粋である。文章中の空欄 ① ～ ④ に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

学校や学級内の人間関係や ① を整えるとともに、集団宿泊活動やボランティア活動、 ② , 地域の行事への参加などの ③ を充実すること。また、道徳教育の指導内容が、児童の日常生活に生かされるようにすること。その際、 ④ や安全の確保等にも資することとなるよう留意すること。

	①	②	③	④
ア	体制	自然体験活動	豊かな体験	いじめの防止
イ	体制	職場体験活動	学校外での活動	環境の保全
ウ	環境	自然体験活動	豊かな体験	いじめの防止
エ	環境	職場体験活動	学校外での活動	環境の保全

問12 『小学校学習指導要領(平成 29 年告示)解説 特別活動編』(平成 29 年 7 月文部科学省)の改訂の要点に関する記述として正しいものの組合せを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ① 小学校の学級活動に「(3) 一人一人のキャリア形成と自己実現」を設け、キャリア教育の視点からの小・中・高等学校のつながりが明確になるようにした。
- ② 学習の過程として、「(1) 学級や学校における生活づくりへの参画」については、一人一人の意思決定を、「(2) 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全」及び「(3) 一人一人のキャリア形成と自己実現」については、集団としての合意形成を行うことを示した。
- ③ 特別活動が、望ましい人間関係を通してよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる教育活動であり実践活動であることをより一層明確にするため、目標に新たに「人間関係」を加えた。
- ④ いじめの未然防止等を含めた生徒指導との関連を図ること、学校生活への適応や人間関係の形成などについて、主に集団の場面で必要な指導や援助を行うガイダンスと、個々の児童生徒の多様な実態を踏まえ一人一人が抱える課題に個別に対応した指導を行うカウンセリングの双方の趣旨を踏まえて指導を行うことを示した。

ア ①②

イ ②③

ウ ③④

エ ①④

問13 「新しい時代の特別支援教育の在り方に関する有識者会議 報告」(令和3年1月新しい時代の特別支援教育の在り方に関する有識者会議)の「I. 特別支援教育を巡る状況と基本的な考え方」に示された内容として誤っているものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 特別支援教育は、障害のある子供の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するという視点に立ち、子供一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行うものである。

イ 特別支援教育は、発達障害のある子供も含めて、障害により特別な支援を必要とする子供が在籍する全ての学校において実施されるものである。

ウ インクルーシブ教育システムにおいては、障害のある子供と障害のない子供が可能な限り同じ場で共に学ぶことを追求するとともに、障害のある子供の自立と社会参加を見据え、一人一人の教育的ニーズに最も的確に応える指導を提供できるよう、多様で柔軟な仕組みを整備することが重要である。

エ 少子化により学齢期の児童生徒の数が減少する中、特別支援教育に関する理解や認識の高まり、障害のある子供の就学先決定の仕組みに関する制度の改正等により、通常の学級に在籍しながら通級による指導を受ける児童生徒が大きく増加している。一方、特別支援学級や特別支援学校に在籍する児童生徒の数は減少している。

問14 次の文章は、「不登校児童生徒への支援の在り方について」(令和元年10月25日付け元文科初第698号文部科学省初等中等教育局長通知)からの抜粋である。文章中の下線部①～④の正誤(○×)の組合せとして正しいものを、下の解答群ア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

1 不登校児童生徒への支援に対する基本的な考え方

(1) 支援の視点

不登校児童生徒への支援は、①「学校に登校する」という結果のみを目標にするのではなく、児童生徒が自らの進路を主体的に捉えて、社会的に自立することを目指す必要があること。また、児童生徒によっては、不登校の時期が休養や②趣味に熱中する等の積極的な意味を持つことがある一方で、学業の遅れや進路選択上の不利益や社会的自立へのリスクが存在することに留意すること。

(2) 学校教育の意義・役割

特に義務教育段階の学校は、各個人の有する能力を伸ばしつつ、社会において自立的に生きる基礎を養うとともに、国家・社会の形成者として必要とされる基本的な資質を培うことを目的としており、その役割は極めて大きいことから、学校教育の一層の充実を図るための取組が重要であること。また、不登校児童生徒への支援については児童生徒が不登校となった要因を的確に把握し、学校関係者や家庭、必要に応じて関係機関が情報共有し、③組織的・計画的な、個々の児童生徒に応じたきめ細やかな支援策を策定することや、社会的自立へ向けて進路の選択肢を広げる支援をすることが重要であること。さらに、既存の学校教育になじめない児童生徒については、学校としてどのように受け入れていくかを検討し、なじめない要因の解消に努める必要があること。

また、児童生徒の④学力や個性に応じて、それぞれの可能性を伸ばせるよう、本人の希望を尊重した上で、場合によっては、教育支援センターや不登校特例校、ICTを活用した学習支援、フリースクール、中学校夜間学級(以下、「夜間中学」という。)での受入れなど、様々な関係機関等を活用し社会的自立への支援を行うこと。

[解答群]

	①	②	③	④
ア	○	○	×	×
イ	○	×	○	×
ウ	×	○	×	○
エ	×	×	○	○

問15 「児童生徒の教育相談の充実について～学校の教育力を高める組織的な教育相談体制づくり～(報告)」(平成29年1月教育相談等に関する調査研究協力者会議)に示された内容として正しいものの組合せを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ① スクールカウンセラーには、不登校、いじめ等の未然防止、早期発見及び支援・対応等のため、不登校児童生徒数やいじめの認知件数、暴力行為発生件数、児童虐待などの件数等から自治体の特徴、ニーズを把握し、地方自治体アセスメントや教育委員会への働き掛けをすることが求められている。
- ② 養護教諭は、全児童生徒を対象として、入学時から経年的に児童生徒の成長・発達に関わっており、また、いじめや虐待が疑われる児童生徒、不登校傾向である児童生徒等、様々な課題を抱えている児童生徒と関わる機会が多いため、健康相談等を通じ、課題の早期発見及び対応に努めることが求められている。
- ③ 学級担任・ホームルーム担任には、日常的行動観察や児童生徒の学業成績、言動、態度、表現物等を通して、児童生徒の課題を少しでも早く発見し、課題が複雑化、深刻化する前に指導・対応できるように、児童生徒を観察する力が求められている。
- ④ スクールソーシャルワーカーには、学校・学級における課題の把握のため、必要に応じ授業観察や学校行事への参加、休憩時間や給食時間に児童生徒と一緒に過ごす(給食を一緒に食べる)といった活動及び集団の状況が把握できる種々の調査法の活用等を通じ、個々の児童生徒、児童生徒間の関係、集団の状態等のアセスメントを行うことが求められている。

ア ①②

イ ②③

ウ ③④

エ ①④

問16 発達の最近接領域に関する説明として正しいものはどれか、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 発達の最近接領域は、ピアジェ(Piaget, J.)の提唱した概念である。

イ 発達の最近接領域は、ウィニコット(Winnicott, D.W.)の提唱した概念である。

ウ 発達の最近接領域は、子供が自力で解決できる水準と、大人の援助や指導によって解決可能になる水準の差の範囲を指す。

エ 発達の最近接領域は、発達に最も近い領域である学習と同義である。

問17 子供へのしつけ行動としてオペラント条件付けが応用されているものはどれか、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 子供が望ましい行動をとったとき、ご褒美を与えたり、褒め言葉をかけたりする。
- イ 他の子供が望ましい行動をするのを見せる。
- ウ 苦手なものを徐々に近づけ、触れさせるなどして、不安や恐怖を和らげる。
- エ 納得できる理由を言葉で説明し、十分に理解させて、行動変容を促す。

問18 防衛機制に関する説明として正しいものはどれか、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 「投影」とは、社会的に認められ、好ましい評価を受ける行為を通して衝動を発散することである。
- イ 「抑圧」とは、ポジティブな感情を解放することである。
- ウ 「退行」とは、自分の欲求や感情と全く反対の態度や行動をとることである。
- エ 「合理化」とは、自分の力のなさなどを認めるのを避けるため、言い訳をして自我を守ることである。

問19 教師期待効果の説明として正しいものはどれか、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア ローゼンタール(Rosenthal, R.)らにより、ハロー効果と名付けられた現象である。
- イ 教師が児童生徒に対して期待する方向に、児童生徒の学業成績や行動が変化する現象である。
- ウ ローゼンタール(Rosenthal, R.)らの実証的研究で、小学校のどの学年の児童にも見られる現象であることが示された。
- エ 児童生徒にプラスの方向にのみ働き、マイナスの方向には働かない。

問20 次の文章は、「新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた学校と地域の連携・協働の在り方と今後の推進方策について(答申)」(平成 27 年 12 月中央教育審議会)からの抜粋である。文章中の空欄 ① ～ ④ に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

社会情勢の変化や教育改革の動向等を踏まえた ① の在り方や、今後全ての学校が ① 化に取り組み、地域と相互に連携・協働した活動を展開するための総合的な方策、学校と地域をつなぐ ② の配置のための方策、地域の人的ネットワークが地域課題解決や地域振興の主体となる仕組みづくり等について審議が要請された。

(中略)

本答申全体を流れている理念は、未来を創り出す子供たちの成長のために、学校のみならず、地域住民や保護者等も含め、③ が教育の当事者となり、社会総掛かりでの教育の実現を図るということであり、そのことを通じ、新たな ④ を創り出し、生涯学習社会の実現を果たしていくということである。

この理念を実現すべく、本答申では、これからの教育改革や地方創生の動向を踏まえながら、学校と地域の連携・協働を一層推進していくための仕組みや方策を提言している。

	①	②	③	④
ア	コミュニティ・スクール	コーディネーター	国民一人一人	地域社会
イ	学校評議員制度	社会教育主事	学校関係者	地域社会
ウ	コミュニティ・スクール	コーディネーター	学校関係者	国と地方の関係
エ	学校評議員制度	社会教育主事	国民一人一人	国と地方の関係